

今月の ひとこと

「株価チャートを見ることができないという「お恵み」のおかげで、ファンダメンタル・バリュースト分析を深めることができた。」（大江英樹氏、馬淵治好氏、竹川美奈子氏、岡本和久共著「投資の鉄人」より）

これは韓国生まれのシン・スングユさんの言葉です。彼は全盲の方として初めてグローバルな証券アナリスト資格、CFAを取得しました。全盲であることがプロとして成功するためのお恵みであったと言い切れるのはすごいことだと思います。同時に私たちはあまりに多くのものが見えすぎて株価の動きに惑わされ過ぎていてと感じざるを得ません。証券アナリストの父、ベンジャミン・グレアムのいう「ミスター・マーケット」といつも距離を置くことの重要性は、常に心にためておくべきことだと思います。

~~~~~

FACEBOOK上でクラブ・インベストラライフの仲間が活発な議論をしています。FACEBOOKに登録している方、ぜひ、ご参加ください（2017年7月10日現在で参加者数は3500名です）

## 投資と寄付を結ぶ「心」

対談： 日本フィランソロピー協会理事長、高橋 陽子氏、岡本 和久 レポーター： 佐藤 安彦



高橋：貯蓄だと自分のためだけれど、投資にはリスクがあって、減ったら怖いという感じはある。しかし、そこに良い世の中をつくるという要素を含めるとずいぶん違ったものに見える。つまり、投資には寄付的な要素もあるということですね。岡本：そうなんです。寄付は最初からお金を出し、それが戻ってくることは期待していない。でも、投資で世の中のためになることにお金を使ってもらい、その上、増えて戻ってくる可能性があるなんていうことになったらすごく良いことのような気がしますよね。

## I-OWAマンスリー・セミナー講演より 信託スキームの使い方

講演： 成蹊大学経済学部 非常勤講師 永井 勝巳氏 レポーター： 赤堀 薫里



大正時代にできた信託法が10年位前に改正され少し使いやすくなりました。信託業法では例えば、信託銀行が信託を使ってビジネスをする時に、財産を信託銀行に預けるのですが、信託銀行が悪さしないように規制するような法律が作られています。このような法律に守られて信託が機能しています。信託とは、契約・遺言・信託宣言のいずれかにより、特定の者が一定の目的に従い財産の管理または、処分及びその他の当該目的の達成のために必要な行為をすることをいいます。

## I-OWAマンスリー・セミナー座談会より 終末に向けての準備を考える

座談会：永井 勝巳氏、参加者のみなさま レポーター： 赤堀 薫里



参加者 | 民事信託を、信託銀行ではなく、弁護士さん等個人にお願いする場合ですが、知識にバラつきがあると思います。少し複雑なスキームの場合等、危ういことも予想されます。誰に頼めばいいのでしょうか。信託協会がありますよね。そこに行けばいい人を紹介してもらえますか。

## クラブ・インベストラライフとは？

人生を通じての長期投資は孤独な長旅です。この長旅に耐え、大きな喜びを得るには、資産運用を行うための基礎となる知識と孤独な旅を支えあう仲間が必要です。「将来の自分はいまの自分が支える」ほかない時代、クラブ・インベストラライフの活動は、豊かで幸せな人生のための投資を目指しています。

毎月、ネット上で会報誌を公開するほか、FACEBOOKやTwitter上で議論の場を提供し、各地でのセミナーを開催しています。

まったく投資の経験のない方も多数、参加しておられます。大手金融機関から完全に独立しているので、特定の商品をお勧めすることも販売することも一切ありません。

## <FACEBOOK、TWITTERへの 投稿の際のお願い>

1. 個別商品の販売・推奨、あるいはそれに類する投稿はご遠慮ください
2. 発言はあくまで個人としてのものとしてください
3. 企業広告はご遠慮ください

## I-Oウェルス・アドバイザーズの メール・マガジン

メルマガへのご登録は下記のメールアドレス宛に、空メールを送信下さい。購読は無料です。

[mag@i-owa.com](mailto:mag@i-owa.com)

毎月15日配信 無料

## Facebook

Facebook上のグループ、クラブインベストラライフ  
<http://www.facebook.com/groups/investlife/>

Facebookへの登録が必要で  
す。リクエストボタンを押して  
入会申し込みをしてください。

[Facebookへはこちらをクリック](#)

Twitter上のグループ  
クラブインベストラライフ  
[http://twitter.com/c\\_investlife](http://twitter.com/c_investlife)

Twitterへの登録が必要です

[@c\\_investlifeさんをフォロー](#)

## I-OWAマンスリー・セミナー講演より 日本の証券市場のあゆみ 戦時体制へ（1926～1941）

講演： 岡本 和久 レポーター： 赤堀 薫里



第一次世界大戦で、勝利の側についた日本は「漁夫の利」と言われました。大戦後は世界秩序が十分に確立されず、各国ごとに保護主義、ブロック経済化が進みます。どこか今と似ている部分があります。国内経済は戦中と戦後直後は好景気でしたが、シビアナ反動不況に入ります。これは、第一次大戦中と戦後は、欧州の生産能力が著しく落ちた為、日本に注文がきてバブル的好況を生み出したのですが、欧州で生産が復活することで限界供給者だった日本は大不況に陥ります。反動不況で苦しんでいる所に関東大震災が起き、この震災で国富100億円ぐらいが損失しました。

バックナンバー

一覧

- 2017年05月15日発行 Vol.173
- 2017年04月17日発行 Vol.172
- 2017年03月15日発行 Vol.171
- 2017年02月15日発行 Vol.170
- 2017年01月16日発行 Vol.169
- 2016年12月15日発行 Vol.168
- 2016年11月15日発行 Vol.167



## 知って得する、ちょっと差がつく トリビア・コーナー

トリビア研究家 末崎 孝幸

- ★ エベレスト初登頂の謎 ★ 一を聞いて十を知る ★ 引き出物（の語源） ★ 間違えやすい会社名
- ★ 祇園精舎（はどこにあるのか？）

## 中国がわかるシリーズ40 モンゴル軍の第一次大西征 その2

ライフネット生命保険株式会社 代表取締役会長兼CEO、出口 治明氏

1241年、ウゲデイが没し（チャガタイも相前後して他界）、皇后ドレゲネが国政を代行します。1242年、既にハンガリーを席捲していたモンゴル軍は、訃報を聞いて帰途につき（第1回大旋回）、ヨーロッパは救われたのです。

## 参考データ・コーナー

### 基本ポートフォリオのパフォーマンス

データ提供：イボットソン・アソシエイツ・ジャパン／投信まとなび

5月のモデル・ポートフォリオのパフォーマンス（成長型）は四資産型が+1.18%、二資産型が+1.19%でした。

### 投信データ・ウォッチ

データ提供：イボットソン・アソシエイツ・ジャパン／投信まとなび

今月は直販投信のパフォーマンスを比較していただきました。

## I-OWAたより

### 岡本和久のI-OWA日記

◆ ミッション・フォー・リターンズが開催されました ◆ 宮城県大郷町で講演 ◆ 「例の会」に出席 ◆ 今年の鴨はNo Kids? ◆ 資産運用こぼれ話：声を上げることが恐れてはいけない ◆ フィラデルフィア&ワシントンDCへ出張 ◆ I-OWA マンスリー・セミナー（140回）が5月14日に開催されました ◆ 日本経済新聞夕刊の「人間発見」で私を取り上げていただきました

[詳細はこちらをご覧ください。](#)

### セミナー案内

6月18日（日）12：30～16：30 東京 I-OWAマンスリー・セミナー（141回）会場：東京都渋谷区広尾1-8-6-7F（当社オフィス）「投資教育家の視点で見た投資教育 米国IPT訪問報告（前半）」（岡本 和久）「退職後資産準備の考え方」（フィデリティ退職・投資教育研究所所長 野尻 哲史氏）フリー・ディスカッション&懇談会 スポット受講料： 教室での受講は10000円＋税 予約必須、動画での受講は5000円＋税

+++++

6月24日（土）13：30～17：00 仙台 サロン・インベストラ이프仙台北催講演会 講演：岡本 和久 テーマ：①かんたんすぎる資産運用、②しあわせ持ちへのロードマップ 会場：A E R（アエル）ビル、特別会議室 宮城県仙台市青葉区中央1-3-1-6F 参加費：6月9日までにお申込みの方：¥1,500、6月10日～6月23日にお申込みの方：¥2,000、6月24日（当日）お申込みの方：¥2,500 お申込みは <http://ptix.co/2phRLmN> 定員：15名 お問合せ：info@i-owa.com（I-Oウェルズ・アドバイザーズ）

kenichi-4667@jcom.home.ne.jp（村越 顕一様）

+++++

6月25日（日）13：30～17：00 秋田 I-OWA／インベストライフ・セミナーIN秋田 講演：岡本 和久 テーマ：① かんたんす  
ぎる資産運用:はじめの第一歩、② 相場に惑わされない資産運用：歩き続ける耐久力 会場：秋田県ゆとり生活創造センター 遊学  
舎 研修室 1 〒010-1403 秋田市上北手荒巻字堺切24-2 TEL：018-829-5801 FAX：018-829-5803 参加費：6月10日までにお  
申込みの方：¥1,500、6月11日～6月24にお申込みの方：¥2,000、6月25日（当日）お申込みの方：¥2,500 お申込みは  
http://ptix.co/2peNcd5 定員：24名 お問い合わせ：info@i-owa.com（I-Oウェルス・アドバイザーズ）  
kirakirahapilaki@ab.auone-net.jp（土井 広文様）

+++++

7月16日（日）12：30～16：30 東京 I-OWAマンスリー・セミナー（142回）会場：東京都渋谷区広尾1-8-6-7F（当社オフィ  
ス） 「米国出張報告」（岡本 和久）「アナリストとしての職業倫理の在り方（仮）」（日本CFA協会 原田武嗣氏）フリ  
ー・ディスカッション&懇談会、スポット受講料： 教室での受講は10000円＋税 予約必須、動画での受講は5000円＋税

+++++

7月23日（日）9：30～11：30 富山 日本FP協会員向け 継続教育研修 IN 富山 @富山市婦中町のふれあい館 富山県富山市  
婦中町砂子田1-1 講演：岡本 和久 テーマ：子供への金銭教育について  
http://www.city.toyama.toyama.jp/other/shisetsuannai/fuchufureaikan.html

+++++

8月20日（日）12：30～16：30 東京 I-OWAマンスリー・セミナー（143回）夏休み恒例「大人と子供のためのハッピー・マネ  
ー教室」会場：ヒューリックカンファレンス 3階 Room2 東京都台東区浅草橋1-22-16 JR・都営浅草線 浅草橋駅前  
http://www.hulic-hall.com/access/ ①「ハッピー・マネー教室」、②「投資教育－投資教育家の視点から」（岡本 和久）②  
の時間帯にお子さんにはワークショップがあります ③発表会 受講料 マンスリー・セミナー会員様（教室・ネット）およびご同  
行のお子様：無料、大人：1000円、お子様（高校生以下）：500円 お申込みはPEATIXにサイトを開設準備中です。お問合せは当  
社まで（info@i-owa.com）

[詳細はこちらをご覧ください。](#)



### 投資と寄付を結ぶ「心」

対談： 日本フィランソロピー協会理事長、高橋 陽子氏、  
岡本 和久  
レポーター： 赤堀 薫里

岡本：インベストメントライフのインタビューは、最近、投資の話が多かったので、今回はもう少し範囲を広げて、寄付という側面からお金の有用性について、つまり、投資をするというのはどういうことか、寄付をするというのはどういうことを考えていきたいと思っています。

私が1971年に新入社員として証券会社に入った時に、当時の会長が入社式で「君たちは良い会社に入った。これからいよいよ貯蓄から投資の時代が来る」とおっしゃったので、そうか、これからは投資の時代なんだと思ったけれど、今も同じことが言われているでしょう。

高橋：そうですね。日本人に投資は馴染まないのでしょうか。

岡本：40数年経って変わっていないんですから、驚くべきことですよね。これは「安全なものではなくて、危ないものをやりましょう」という言い方がそぐわないのかなと思う部分もあるんですよね。だけど、ここに心という要素を加えてみると見え方が変わってくる。つまり、「寄付から投資へ」という考え方もあるのではないかと思います。要するに、世の中の困っている人を助けてあげる。今、すぐにお金を必要としないお金がある。一方で今お金を必要としている人がいる。その人にお金を使わせてあげて、世の中の役に立つような良いことをしてもらう。良い社会づくりのために、自分のお金を使ってもらう。投資というものをそのようにとらえてみるとずいぶん違った世界が見えてきます。それでその人がみんなから喜ばれることをして、感謝のしるしであるお金が集まってきたら、そのお金の一部がずっと将来に自分のところに増えて戻ってくる。同じ投資という行動でも、そういう考えに基づいたアプローチの方が日本人的には受け入れられやすいのではないかなと思います。





## 長期投資仲間通信「インベストラ이프」

高橋:確かにそうかも知れませんね。貯蓄だと自分のためだけれど、投資にはリスクがあって、減ったら怖いという感じはある。しかし、そこに良い世の中をつくるという要素を含めるとずいぶん違ったものに見える。つまり、投資には寄付的な要素もあるということですね。

岡本:そうですね。寄付は最初からお金を出し、それが戻ってくることは期待していない。でも、投資で世の中のためになることにお金を使ってもらい、その上、増えて戻ってくる可能性があるなんていうことになったらすごく良いことのような気がしますよね。

高橋:ピギーちゃんの貯金箱にも寄付の部分がありますよね。

岡本:はい。もちろん貯金は必要だけど、選択肢が貯蓄だけというのはないですよ。寄付も、投資もある。

それともうひとつ、投資のリターンというものをどういうものに求めるのかということがあります。投資でお金を出したんだから金銭的なリターンだけを求めるのか、あるいは金銭的な投資であっても、この会社を応援しているという満足感というリターンがあると考えるとか、または寄付のようにお金のリターンは無いけれど、少しは自分もみんなに喜ばれることをしているんだという喜びをリターンと捉えるのもあるかと思います。いわゆる「利他のリターン」ですけど、そういう一面もあるかと思います。そういった面で、お金全般に対して光を当ててみると結構、見え方が違ってくるんじゃないかなと思っています。

高橋さんは、最近、人々の寄付に対する意識が変わってきているとか、そういうことは感じられますか？

高橋:数字を見ると個人は増えてきています。個人と法人で半々くらいになっています。

岡本:そうなんですか。以前はどのくらいの割合だったんですか。

高橋:個人は4分の1くらいだったと思います。

岡本:それはかなり増えましたね。

高橋:はい。そうです。若い人達中心にクラウドファンディングという形が広がってきています。それから、私の周りでも、寄付とかに関係ないと思っていたような人が、実はアジア地域の子供の里親になっているとか、あまり表立っては分からないけど、そういう人も増えてきているのかなという感じはあります。

岡本:全体的に少し豊かになってきているからなのでしょう。



## 長期投資仲間通信「インベストラيف」

高橋: そうかも知れないですね。あとは、少子化と非婚化があるので、子供や孫がいない方が、そういう事をやられていらっしゃるのかも知れませんね。ただこれはあくまで推測です。自分の周りにそういう方がいらしたので。

岡本: 仮に子供が1人だったとして、その一人っ子が結婚しないとなると次の世代は無いんですよね。そうすると、おじいちゃん、おばあちゃんになった時には、今度は長寿化という問題があるから、この一人っ子に全部お金を使うのかとか、相続税の事なんかを考えると、別の使い方を考えてみるというのがありますよね。

高橋: 今は遺贈に関心が増え始めています。NPO 側も遺贈の受け取りに積極的です。先ほど申しましたように、遺産を残す子どもがいない人や独身の方も増えてきたり、遺族が揉めるくらいならば寄付をしておこう、という考えがあるのかも知れませんね。

岡本: なるほど、そういうものもモチベーションの一部となっているんですね。  
それと一方で、東北や熊本の震災の時もそうでしたけど、なにか居ても立ってもいられないという感情になって、助けたいという気持ちが芽生えている人達が出てきているのもあるような気がしますよね。

高橋: それは確かにあるでしょうね。全体的に豊かになっている中で、困っている人が圧倒的に多いという情報なども入ってくるようになりましたから。ただ、豊かな人達だから寄付に積極的であるという実感は、あまり感じないんですけどね。

岡本: 寄付をしているか、していないかと、豊かさってそんなに大きな相関がないのかも知れないですね。

高橋: はい。相関は強くないと思います。私の希望を言えば、富裕層の方にはもう少し寄付をしていただきたいなと思っています。

岡本: 金額的にはそうなりますよね。富裕層が資産の一割を寄付する場合と、ミドル層の人達が資産の一割を寄付するのでは、金銭的な負担感は全然違うでしょうね。

高橋: そうですね。そう思って機関誌でも富裕層ビジネスに関わっておられる増淵さんに書いていただいているんですけど、そういう富裕層の方がなかなか動いてくれないのが現状ですね。

岡本: そういう方は、何に使っているんでしょうね。



## 長期投資仲間通信「インベストラيف」

高橋:もちろん投資などもされているんでしょうけど、買うものの単価も大きいんだと思います。この間、宝石のトップセールスの方と話す機会があったんですけど、1,000万や2,000万の買い物を日常的にされるそうなんです。そういう単価のものを買っているんだとすると、収入はあっても豊かさの実感というのは、意外にないのかも知れません。

岡本:結局、通常の生活の上で必要とする金額というのはそれほど高額ではない。もちろんそこを上回る人や下回る人がいるんですけど。

高橋:収入と幸福度の境界は75,000ドルという話を聞いたことがあります。収入が75,000ドルを越えると、幸福を感じる度合いとの相関が低くなるという調査結果があるみたいですよ。

岡本:日本で言えば、例えば年収1,000万円の人はいそれなりの生活をしていると思いますけど、だけど年収1億円の人が1億円の生活をしているかと言われたら、そうではないですよ。その差の9,000万円は多分、ある意味、不要不急のお金なんですよ。

高橋:はい。そうでしょうね。ただ、生活レベルが違うとは思いますが。高いワインを飲んだり、住まいも都心の地価が高いところだったり、車もより上等なものだったりするんだと思います。そうだとすれば、余裕を持つ、という気持ちにはならないようです。欲望がどんどん増大することにつながるとしたら、意外と気分的には落ち着かないでしょうね。

岡本:なるほど。確かに収入が増えるほど高額の支出をしていたら余裕はなくなってしまう。

高橋:あとは子供の教育ですね。子供の教育にはものすごくお金を掛けていますね。掛けないといけないんじゃないかという強迫観念みたいなものがすごいですよね。  
でも、結果的にどうなるかというあまり変わらない、というかむしろあまり良いことにならないんじゃないかという風にも思いますね。

岡本:お金の問題と教育の問題が絡んでくるというのは、簡単に言うと塾に行けるかどうかということになりますか。

高橋:そうですね。でも今は塾だけではないんですね。昔は野球とかサッカーは、道路や公園とか放課後の校庭でもできたんですけど、今はそれができない状況なんですよ。そうするとどうしても野球教室とかサッカー教室とか水泳教室に行くってことになって、つまりお金が掛かってくるんですよ。

岡本:公園でもできないんですか。



## 長期投資仲間通信「インベストラيف」

高橋: ダメなんです。一部できるところがあるかも知れませんが、概ねダメですね。学校が一番安全なんですけどそれもできなくなっています。なので、私たちの会員企業さんの中には、放課後の学校に人材を派遣したり、部活の指導を請け負っている企業も出てきました。

岡本: そうなんですか。

高橋: はい。今は先生が臆病になっているようです。何か事故でもあったときに責任を持てないということみたいです。ただ、まだこれはごく一部だけで一般的ではありませんけれどね。それで、普通は塾と同じようにスポーツ教室に行くためにお金を払う。そうすると行ける子と行けない子が出てきちゃうというのはありますね。

岡本: 行けない子はどうなりますか？

高橋: ブラブラしたり、家に引きこもったり、いろいろだと思います。お父さん、お母さんが一生懸命働いている“健全な貧しさ”であれば、鍵っ子で家で留守番をしたり、友達と遊んでいるんでしょうけれど。行ける子は塾に行ったり、スポーツ教室で体を動かしているので、その辺でも格差が生まれてしまうのは可哀想だなと思いますよ。あと、高校になると、貧しい場合は授業料は無料になるんですが、交通費は出ないんですよ。そうすると、例えば定期券の 5,000 円が払えなくて退学してしまうこともあるということを聞きました。

なので、そういう谷間のところをサポートしてあげる必要がありますよね。それと、そういう子供は小学校の時から勉強をきちんとしていないので、九九ができないケースも多いのです。九九が分からないまま中学校を卒業してしまうんですね。そんな状況の子供だと正社員では働けない。たこ焼き屋さんでアルバイトしていた子がいました。ある時、たこ焼き 30 個を頼まれたんだけど、九九ができないから順番に数えながら入れていくんですよ。そうやっていると、まどろっこしいからお店の人にも怒られてクビになる。それは大変なんだけど、逆に言えば誰かが九九を教えてあげれば、少しでも可能性が広がるんですよ。

岡本: 九九がわからないというのはショッキングです。

高橋: 学校ではもちろん教えてはいるんです。だけど、理解の遅い子に丁寧に教えようとする、他の子供達、あるいは保護者から不満が出るのでなかなかできないみたいです。これは九九だけでなく漢字もです。それ以前に生活習慣に関しても、想像を超えることがあるようです。

この間、京都で学習支援をしている人の話を聞いたんですけど、そこでは、来たらまずお風呂に入るんですって。なぜかという、まず体に傷が無いかを確認するというのと、生活習慣を見るためというのもあるみたいです。頭を洗いましょうという、髪をぬらさないで、いきなりシャンプーを頭に直接かける子もいるみたいなんです。私たちは誰かに教えられたというわ



## 長期投資仲間通信「インベストラيف」

けでなく、親がやっているのを見て覚えていくんですけど、その子達はそういう経験がまったくないので、そういうことをするんですよね。だから、それを違うよと教えるとか、体を洗ってキレイになると気持ちがいいというのを覚えてもらうとかをやるみたいなんですね。ご飯を食べるときも先にテーブルをキレイに片付けてから食べさせる。そうすると片付けをしてから食事をすると気持ちがいいなと覚える。

ある時、担当の先生が子供の家に招待されたんですって。家は全体的に散らかっているんだけど、その子は自分のスペースをちゃんとキレイにしている、それを見てほしかったんですね。その子はキレイにすると気持ちが良いことが分かったみたいで、つまり、親が教えてくれなくても、ロールモデルがいれば子供は覚えていくんですよね。

岡本：外国から日本に来た人でも同じような話がありますね。最初は大声で話すとかゴミを散らかすとかやっているんだけど、何度か日本に来るうちに、段々と行儀作法を覚えるのと同じですよ。やっぱり人に迷惑を掛けないようにするとか、人のために何かするとか、そういう事を自分で体験すると段々とそれが身に付いていく。それと同じような面がありますね。

高橋：そうですね。やっぱり教えなければ分からない。私たちは教えて貰っていないと思っているけど、教えて貰っているんですよね。

岡本：1970年代だったと思いますが、飛行機に乗った時の事ですけれど、当時は農協関連のツアーが盛んだった頃で、日本人の団体が私の後ろの方でガヤガヤ騒いでいるんですよね。それで、飛行機が離陸して水平飛行になった途端に、その人達がみんなズボンを脱ぎ出すんですよね。みんなステテコになってワイワイガヤガヤやっていることがあったんですけどね。確かに楽は楽なんでしょうけど……。今はそんな人いないですけど、日本もそんな時代もあったんですよ。まあ、段々とまわりの人の振りを見て学んでいくんですよ。

高橋：そうですね。最初からは分からないですからね。だから、貧困と言ったときの問題は、お金が無い貧しさと体験の貧しさが繋がってしまいますよね。

岡本：なるほどね。体験というのは、全てとは言わないけれど、本来は家庭の果たす役割が大きいということになりますね。そういう子供の親はどういう状況なんですか？

高橋：よく貧困は連鎖すると言いますから、親もそういう家庭だったりとか。それと一概には言えませんが、虐待の経験があったりすると思います。で、それを子供にもしてしまう。または、親御さんが精神障害だったりアルコール依存症だったりするケースもありますね。少年院に入ったり、非行をしてしまったり、一旦、道を外れてしまうと、受け入れてくれる所がないから、どんどんと落ちていってしまうみたいです。やはり、大事にされた経験のない人は、子どもの愛し方などもわからないようですね。



## 長期投資仲間通信「インベストラيف」

ですけど、大阪のあるNPOの方から聞いた話で、同じような境遇の女の子が2人いて、ひとりには落ちていっちゃった。だけどもうひとは、ちゃんと結婚してお子さんを産んで育てているってことを聞きました。その人が頑張れたのは、父親違いのお姉さんが子供を産んで育てているのを見て、自分にもできるって思ったからなんですって。

岡本:なるほど。キーワードは希望ですね。

高橋:はい。本当にそうなんです。希望なんです。子供達に希望をどうやって持たせてあげるか。希望を持つためには、身近にイメージできるロールモデルがあるというのが大事なんですよね。

岡本:今の話を伺っていると、親の生活態度というか基本的な考えに問題があるように感じますね。それがその親たちの責任かどうかは別ですけど。これって、私たち世代の子育て方が悪かったのかな。

私たちのひとつ前の世代は、戦後の日本が復興していく立役者としてやっていて、私たちはある程度土台ができていて、それなりに良くなったところで社会に出て、今思うと安定した比較的気楽な時代だったんですよね。高度経済成長と言われていましたし。でもその次の世代は、学生時代にバブルに浮かれた大人達を見ていて、社会に出た途端にバブルが崩壊したとかという、ある意味、屈折したものがあるのかも知れませんね。

高橋:私の親の世代は、敗戦で価値観がガラッと変わってしまって、それまでの国家主義が無くなった時に、人間としての道徳・倫理観みたいなものも一緒に壊れてしまったように思います。寺島実郎さんが、団塊の世代の特徴は経済偏重主義と私生活主義とおっしゃっていました。とにかく豊かになりたい、という思いがエネルギーになっていった時代でもありましたが、それが、自分さえよければ、ということにもつながっていったのかもしれない。また、個人主義と言っているけれど、本来、個人主義は他者との関係の中で、流されることなく自分でしっかり考え行動する、ということだと思いますが、私生活つまり自分達の身近な人達との生活が全てで、パブリックという概念がなくなってしまった。その始まりが団塊世代で、それが今につながっているのだと思います。よく電車の中で化粧をしたり床に座り込んだりする人達には、パブリックの概念がないんだと思います。全ての空間も時間もプライベートで、その分、友達との関係は密接でないと不安になるんだと思います。だから、友人や家族以外の、社会の一員という意識はないので、寄付、という発想も出にくいのかも知れませんね。

岡本:なにか個人主義的なものが良いものなんだという意識がありますよね。しきたりとか、しがらみとか、そういったものに囚われないという考えなんだと思います。



## 長期投資仲間通信「インベストラيف」

高橋:そこからの解放というのはありましたよね。ただ、本来、人間の暮らしにはパブリックとプライベートというのはあるんだけど、そこからパブリックが抜けてしまった感じというか。

岡本:日本にもパブリックという何か共通の道徳観というような意識の土台があったんだけど、それが軍国主義的なものに支配されてしまった。それで、戦後、軍国主義と一緒に道徳観念も全部捨てちゃって、上にあった個人主義的なものだけ拡大されて残ったという感じでしょうかね。

私は18歳からアメリカに行って、そこで驚いたのが、みんな非常に個人主義的だということでした。みんなそれぞれ思い通りのことを自由にしている。それを凄く感じましたね。

高橋:他人のことは構わない感じなんですか？

岡本:いいえ。そこに共通の何かがあるんですよ。アメリカの場合、それが何かと言うと民主主義とか自由とかそういう共通の価値観や、宗教的なものもあったのかも知れないけど、何かの精神的な土台になるものがあって、そこからそれぞれの個人主義的なものが出てきている感じがありました。

そう考えると日本の場合は、相手のことを思いやるみたいな「和の精神」とか、そういったものが共通項としてみんなが持っている、そういう教育が必要なんじゃないかなと思いますね。

高橋:「分に安んで足るを知る」という日本人が持っていたものと、「無常」の精神でしょうか。今は、シェアリングエコノミーという概念も広がり、若者も所有欲があまりなくなっているようで、物も時間もシェアして、沢山働かない分、給料が少なくても良いという人達の動き、それと元々日本列島がもっている地震や台風の多い自然の風土の中で生きていかなければならず、そういったものが繋がっていった緩かな共同体みたいなものが芽として出ているようにも感じています。

岡本:そういった土台を培っていく有効な手段が寄付みたいなことかも知れないですね。自分のことだけでなくお互いのことを考える。自分の生活は成り立っているから、上澄み部分は人のために使おうという考えで、それだって立派なシェアリングエコノミーですよ。

高橋:そうですね。そうやって分け合うやり方は、日本人には割りと合う気はしますよね。

岡本:本来はそうですね。だけど、例えば今の教育制度はそこの部分にあまり重きが置かれていないですね。個人主義というか、個として勝ち抜いていくことを重要視していますね。



## 長期投資仲間通信「インベストラيف」

高橋: 20 世紀型の競争に勝ち抜くことで幸せを得る、という価値観が、機能しなくなり始めている昨今でも、まだ新たな価値観を確立できずに不安ばかりが募って、結局、過去に捉われているのかもしれない。

この間、慶応大学で幸福学を研究されている前野教授に、子供の貧困の研修の講師をしていただいたんですけど、「幸福には、地位財(学歴とか収入)と非地位財(友人や信頼や感謝の気持ち)が、財としてあるけれど、地位財での幸せは長続きしない。逆に非地位財は長続きする」という話を聞きました。つまり、非地位財は収入とかに関係なく幸せになれるので、ボランティアをする人も、サポートしてもらう子供達も、「幸せになりたい」という気持ちと「幸せだな」って思う気持ちは実は同じなんだなと思いました。

あと、前野先生の、「幸せの 4 つの因子」という話で、1 つは「成長とか向上心」。2 つ目は「繋がりと感謝」。3 つ目は「楽天的な考え」。4 つ目は「マイペース」なんですって。これで、地位財・非地位財というのも考え合わせると、意外と「繋がりと感謝」というのが幸せになるポイントかなと思いました。

それで、今度は自分が歳を取ったときに、体は着実に衰えるし、できないことも増えてくる。それを実感するし、残された時間も短いとか、自分に関心がいくとネガティブな事が多くなるんですね。でも、例えば利他についてや、寄付のことを考えると、そのリターンが子供達の成長だったり喜びであったりするんですよね。だからそういうことをやっていると、すごく幸せでポジティブな事に出会わせて貰える。利他という考えは、幸せになるための大事な因子なんではないかと思いますね。

岡本: 地位財というのは、意味が薄いものかも知れないですよ。例えば、どこかの会社の社長をやっていた人が全ての職責を離れたら、自分の存在意義が感じられなくなってしまうかも知れませんね。だから、逆に言えばあるレベルや年齢になって能力的な限界を感じたら、その地位から離れた方が良いんだと思いますよ。でも、その決断をできない人はかなり多いですよ。

高橋: ジャック・ニコルソンが主演の「アバウト・シュミット」という映画があるんですけど、退職した男性が一ヶ月くらいして会社で顔を会わすんですけど、みんなどこか冷ややかな感じなんですね。奥さんとも離婚をするし、娘は自分の気に入らない男と結婚をする。本当に孤独で寂しくなっている時に、アフリカから手紙が届くんですね。差出人は自分が寄付していた子供で、中にはお礼の手紙と、その子と自分が手を繋いでいる絵が入っていて、それを見て号泣するんですね。これは寄付推奨の映画だと勝手に思っているのですが(笑)、そこで描かれているのは、繋がりなんですよ。自分が手を差し伸べたことで繋がりができて…という事ですよ。

岡本: 自分にとっては些細な事でも、相手にとっては物凄く大事な事ってありますよね。



## 長期投資仲間通信「インベストラ이프」

非常に裕福な人にとっての一万円と貧困な人にとっての一万円って、全然価値が違いますからね。逆に言えば、その一万円札が向こうに移ることで生きる事になるので、一万円札も喜ぶますよね。

高橋:それは面白い考え方ですね。お金の気持ちまで考えたこと無かったです(笑)。

岡本:私は以前から「幸せの六角形～六つの富」(<http://www.i-owa.com/diary/2013/01/89.html>)という話をしています。実は私自身ちょっと悩んでいることがあります。高橋さんのご意見をお聞きしたいのです。六つの富の中で、いま一番悩んでいるのは「ファミリー(家族)」なんです。学校で話をした時に、ファミリーがない子供もいるんですね。片親であったり、両親がいなくて施設に入っている子供もいます。虐待を受けている場合など、色々な子供達がいる中で、一概に「ファミリーが幸せの重要な要素なんだよ」と言ったとき、その子にとってどういう風に聞こえるのかなと思いました。これが、いま私の気持ちの中で何か解けない問題になっています。

高橋:そうですね。こども食堂をやってらっしゃる方が、夜に子供達を車で家まで送って行くときに、最初は甘えたりしているんだけど、自分の家に近づくとつれ、子供が緊張していくのが分かるんですって。家の中に入るまで見送っているんだけど、甘えていた時とは顔つきがまるっきり違うと言っていました。本来、ファミリーは癒しの場であり、自分を受け入れてもらえる場なんだけど、緊張の場になっているということですよね。



岡本:なるほど。そうすると家族って何なんだろうって思いますよね。ある人は、ペットだって家族だということを言っていました。それは確かにそういう部分はありますよね。相撲部屋の女将さんと若い力士達だって、ひとつの家族かも知れませんよね。そういう風に考え方を広げていくと、家族って何なんだろうって考えてしまいます。

高橋:血縁だけが家族ではないんですよね。日本人は割りと血縁を大事にしていたけど、今はもうちょっと広がってきた感じがありますね。



## 長期投資仲間通信「インベストラيف」

岡本:そうですね。物理的な面や精神的な面でも身近であるということがファミリーであるということになってきているのかも知れませんね。

高橋:そう考えると、広い意味ではフィランソロピーとファミリーって繋がってくるのかも知れないですね。

岡本:確かに、家族の中でのやりとりなんて、フィランソロピーですね。

高橋:本来、家族の愛は「無償の愛」ですからね。でもそれが、最近はそうでは無くて、親も、条件付きでの愛になっている感じはありますね。子どもにとって家庭は、本来ありのままの自分を無条件で受け入れてもらえる、という安心感を持つ場所です。その安心感がベースにあれば、その後、いろんな困難があってもしっかりした土台があるので頑張れると言われています。その土台が育っていないと、その後、困難にぶつかるかと折れてしまう可能性が高いようです。家庭力が弱まっているとしたら、社会が、家庭力を補完する役割が必要ですね。ボランティアとか寄付ってのも、希望と繋がりを実感するための土台作りの意味があるように思います。特に子供たちに関しては、親に外れたら人生にも外れる、ということにならないよう、周囲の大人が子どもたちに希望と繋がりの可能性をしっかりと伝えていきたいと思っています。

岡本:愛によってお互いに結ばれている状態と、相手の希望や幸せを願う無償の愛の部分と、そこはちょっと違う形だということですね。フレンドとファミリーの大きな違いかな。

高橋:無償の愛であれば、自分に何かを返してくれなくても、その子が元気になってくれたり、その人が豊かで幸せになったり、また、自立してより意味のある人生を送る、ということがリターンになるわけですね。もちろん、相手にとって意味あるサポートでなければいけないですが、感謝が足りない、などと思わないで無償の愛でやっている結構、幸せでいられるかなとも思います。結果的に、それがきっかけで新たな繋がりもできるかもしれませんし。歳を取れば取るほど、利他行動は自分にとって幸せになる大事な因子になるのかも知れませんね。それをロールモデルとして幸せそうだなと思ってくれて、自分の子供や若い人が真似をしてくれたら良いですね。

岡本:私は世の中の人々のストレスを少しでも緩和できないかと思って、私が長年、続けている瞑想を学ぶための奨学金制度を作って、2月に募集をして4月から1回目の受講者が通い始めました。授業料の半分を出してあげて、それは返さなくてもいいものでやっています。

高橋:それは子供が対象ですか？



## 長期投資仲間通信「インベストラ이프」

岡本: 大人でも子供でもいいのです。家族で学ぶ人もいます。それで、一年経ったところで感想文を書いてもらうというお願いはしていますが、それ以外は特に何も求めています。

高橋: それはどこでやっているんですか？

岡本: 私のやっている瞑想の団体です。希望者は、結構たくさんいましたよ。

高橋: 困っている人達が対象ですか？

岡本: はい。それと必要性が高いということも選定の重要ですね。募集に際しては、作文を書いてもらって、それを読んで決めています。

高橋: 必要性が高いとは、どんな状況のことですか？

岡本: 幼い時から虐待を受けていて、いま親になった人とか、あるいは病気だとか、外国籍の人で日本で結婚をしたけど上手くいっていないとか、いろいろなケースがあります。瞑想をやりたいけど、生活費はこれ以上削れないからという感じですね。

高橋: なるほど。そういう活動もやられているんですね。

岡本: はい。やっていると言えば、あとは明治大学の株価指数研究所ですね。

高橋: あれも良いですね。昔の株のデータが全然無いという話を聞きました。

岡本: そうです。無いんですよ。明治時代、1878 年から株式取引所があって取引が行われていたのに、データが揃っていないんですね。戦後の分しか残っていないんです。戦前のことは忘れた。忘れたってことでしょうね(笑)。

高橋: それを色々掘り起こしているんですね。

岡本: はい。明治大学の図書館や、国会図書館で調べたりしています。明治大学の学生達が一生懸命にアルバイトでやってくれていて、2020 年を目標にして頑張っていますけど、これは私なりの証券市場に対する恩返しだと思っています。

高橋: やっぱりご自分の人生のキャリアだとか瞑想もそうですし、そういったいろいろなところへの恩返しとして寄付のような事をやっていらっしゃるの、とても自然体で素敵ですね。



## 長期投資仲間通信「インベストラ이프」

岡本: 明治大学の研究所は、データベースを作れたら、今度はそのデータベースが商品になって研究所そのものの活動を維持してくれるようになるとも思っています。それは私がいなくなった後も残るし、そこにこの想いがずっと繋がっていけば良いんじゃないかなと思っています。いつも、高橋さんとお話をする多くの気づきがあります。今日はどうもありがとうございました。

高橋: こちらこそありがとうございました。結局こちらがいろいろ教えていただくようになってしまいましたね。役得でした！



### I-OWA マンスリー・セミナー講演より 信託スキームの使い方

講演： 成蹊大学経済学部  
非常勤講師 永井 勝巳氏  
レポーター： 赤堀 薫里

世の中には信託というビジネスがあります。昨今では、個人の間でも使う動きが広がってきている信託について、マイケルジャクソンの遺言で解説します。数年前に 50 歳で亡くなったマイケルジャクソンは、遺言を作成していました。日本では、50 歳で遺言を作っている人は少ない。しかし海外では、60 歳でリタイアしてすぐに遺言書を作る習慣があるようです。

彼の財産は 300～500 億とされていますが、遺言書により、その全財産をマイケルジャクソン・ファミリートラスト、日本でいう家族信託という器に入れました。受託者が管理するという信託制度を使い、マイケルジャクソンは、亡くなった後、自分の財産を遺言で移管しました。ファミリートラストを管理しているのは、多分、弁護士集団でしょう。運用したり、不動産の税金を払ったりという管理を全部しています。



マイケルの遺言は全財産をトラストからお母さんへ 40%、3 人の子ども達に合計 40%、福祉事業に 20%に分けました。その中で、「まだ幼い子ども達が 30 歳になるまで財産を渡さないように」と書かれた遺言は、専門家から見ても、素晴らしい内容といえるでしょう。コントロールがきけば、お母さんも子ども達も喜ぶし、慈善事業に何十億もの資金が回っていくわけですから非常にいいですね。この仕組みは家族信託とされています。

財産を拠出したマイケルジャクソンが委託者、そのファンドを管理している弁護士集団を受託者、利益を受け取るお母さんや子ども達を受益者といいます。つまり、財産管理、処分する仕組みとい



## 長期投資仲間通信「インベストラ이프」

うことになります。委託者がいて委託をします。そして受託者が受託した資産を管理し、第3者もしくは本人である受益者へボタンタッチするという「三すくみ」が信託の特徴です。

大正時代にできた信託法が10年位に前に改正され少し使いやすくなりました。信託業法では例えば、信託銀行が信託を使ってビジネスをする時に、財産を信託銀行に預けるのですが、信託銀行が悪さないように規制するような法律が作られています。このような法律に守られて信託が機能しています。信託とは、契約・遺言・信託宣言のいずれかにより、特定の者が一定の目的に従い財産の管理または、処分及びその他の当該目的の達成のために必要な行為をすることをいいます。

例えば、おじいちゃんが、お孫さんに自分の財産をあげようと思っている時に、信託銀行に、いったん財産を移転して管理運用し、増やしてもらってから10年後に孫に渡すなどということができる制度です。受託者がいい加減な管理をして、受益者に渡す前に資産が無くなったり、毀損したりしないように法律も決められています。

委託者であるおじいちゃんが活着ている間であれば、お金を1億円預け、「10年後にお孫ちゃんに1億円渡す」、という契約をします。マイケルジャクソンのように「おじいちゃんが死んだら財産をお孫ちゃんに渡してください」という、遺言で信託を設定することも出来ます。おじいちゃんが持っていた1億円は信託銀行に渡します。特徴としては、財産権を信託銀行に移転します。銀行の定期預金との違いは、銀行に預けるのではなく信託する。つまり名義がわるのです。

例えば、おじいちゃんが持っている自宅の隣の駐車場100坪の土地を10年間運用した後に、お孫さんに渡してくださいと信託銀行に信託した場合、100坪の土地の名義は、受託者である信託銀行になります。単に預けるとか代理をしてもらうということと信託は異なります。委託者が10年後に自分に返してくださいということであれば、受益者と委託者が同じですから、受託者は預かったお金を委託者に返すわけです。つまり、お金のやり取りであれば定期預金と変わりません。ただ、違う人に渡すことができる制度であるということになります。

この後、講演では、投資信託の仕組みと信託の持つ機能の解説や、信託銀行の歴史について、また様々な信託商品の説明とそこから、教育資金贈与信託や特定寄付信託、遺言信託の仕組みについての解説、最後にビジネスで使うのではない民事信託(家族信託)の活用方法について説明くださいました。



### I-OWA マンスリー・セミナー座談会より 終末に向けての準備を考える

座談会: 永井 勝巳氏、参加者のみなさま  
レポーター: 赤堀 薫里

参加者 | 民事信託を、信託銀行ではなく、弁護士さん等個人にお願いする場合がありますが、知識にバラつきがあると思います。少し複雑なスキームの場合など、危ういことも予想されます。誰に頼めばいいのでしょうか。信託協会がありますよね。そこに行けばいい人を紹介してもらえますか。

永井 | それは無理だと思います。

参加者 | 自分で調べるしかないのですか？今は、色々な業種の方が家族信託のビジネスを手がけているようですね。

参加者 | 家族信託はブームなので、様々な場所でセミナーを開催していますが、実際に実務をやっている人は本当に少ないのが現状です。不動産関係を年十数件とやっている人もいます。反面、経験はありませんが「やります！」と言っている人もいます。一般の方からすると、専門家を探すのが難しいのではないのでしょうか。



永井 | 専門家自体がいらないと思います。その仕組みをやった後、将来、何か問題が起こった事例がまだないので、対処の仕方がわからないでしょうね。

参加者 | 実際に担い手がいらないですね。金融機関は対応してくれるところが少ないです。信託の仕組みを作ろうとしても、信託名義の口座を作ってくれる金融機関が限られています。その辺がどう広がっていくのか。金融機関側からすると儲からないのでやりたくない。でき



## 長期投資仲間通信「インベストラيف」

れば他にいってくれという感じです。信託銀行はそれなりの規模がないとやってくれない。

岡本 | 信託をした場合に、受益者から運用の指図はできないという話があります。例えば、教育資金贈与信託や特定寄付信託等はどうでしょうか。教育資金を違う子どもに渡すという自由度はありませんよね。

参加者 | それは、どちらかという信託目的ということで、この資金は運用してこの孫に渡してくれということを委託者がします。

岡本 | サントリーが特定寄付信託として愛鳥基金をしています。その場合、どの鳥のためのNPO 法人にお金を渡すという指示をサントリーはできませんか？

永井 | ある程度はできます。例えば巣箱にお金が回るようにするというような大枠の指示ならできます。投資信託の運用スタイルもそうですよね。

岡本 | 運用方針ですね。

永井 | そうですね。投資信託であれば、「海外に投資してください」とか「債券に投資してください」というような指示ができます。その枠組みと同じような枠組みで、愛鳥基金であれば、「研究機関に資金援助してください」とか、「愛鳥活動をしている市民に渡してください」という指示はできます。

岡本 | 投資信託の場合は、「何か、儲かりそうな株に投資してください」ではまずいですよね。と言って「この銘柄を何株いくらで買ってください」という運用指図は出来ませんよね。

永井 | それはこのスタイルでは受けつけられません。これは、運用する目的ではありません。逆に言えば信託銀行が運用して失敗したら、当初の一億円が一億円渡らないわけじゃないですか。もし9,000万円になってしまったら受託者として失格なわけです。だから、元本保証の超低金利のもの、合同運用金銭信託なのですが、それでしか運用できません。

岡本 | つまり、投資信託とは種類が違うということですね。

永井 | そうですね。運用ではなく、定期預金のような最低の利息しかつかない状態で、誰に渡すのかという行先と、期間はいつ渡すのかという指示になるわけです。



## 長期投資仲間通信「インベストラ이프」

参加者 | 教育資金贈与信託を3年前に祖父母から孫にやってもらいました。今は超低金利なので、元本プラス100円ちょっと増えるくらいです。会社側からいうと全然儲からない話ですよ。全然コストもとられていませんからね。

永井 | 儲からないですね。「なんでそんなに一生懸命PRするのかな?」と思っているくらいです。新しくお金が入ってくればいいのですが、自分の銀行の中のお金を振り替えているだけなのでね。たまには新しいお客様が入ってくる場合もありますからそういうメリットもなきにしもあらずではありますが。

岡本 | 支配資金が増えればいいのですけどね。

永井 | 今、お金がきても運用先がないですから、こういうものは赤字だと思いますね。超低金利ですから。事務コストはかかります。教育資金ですと、学校の授業料や入学金は明確にわかりますが、塾代には上限金額がありますからね。手間がかかります。

参加者 | 毎年封筒が送られてきて、実際にかかった費用を知らせるように連絡が、手間がかかりますよね。

永井 | 多分赤字だと思います。

参加者 | 信託銀行さんとしては、それで遺言を取りたいと私は認識していますがどうでしょうか。

永井 | 遺言だけではないですね。

参加者 | 教育資金贈与や暦年贈与信託単体では全部赤字だけど、遺言が取れる。遺言だけでは赤字だけど、最後の財産を分ける執行のところでごそっと取りたい。そのために集めている。

永井 | そうですね。これをやる方は、お金を持っている資産家で、高齢の方です。そのビジネスにつながるのが早いだろうと思うわけです。

参加者 | 証券会社も、個人の投資家が、お父さんから子どもに証券を委託するということをやっていきますね。

参加者 | 講演の最初の例として出て来たマイケルジャクソンのファミリートラストは日本でいう遺言信託と同じですか?



## 長期投資仲間通信「インベストラ이프」

永井 | 遺言信託ではないです。まさに信託ですね。遺言信託というのは信託銀行が作っている単なる商品名です。法律でいう信託ではありません。

永井 | 亡くなると銀行口座が閉鎖されますよね。そうなるとお葬式代が払えないとみなさんが心配します。そこにつけこんで、100万～300万円のお金を信託するように勧めるわけです。信託すれば亡くなった場合、すぐ息子が引き出せますからね。

参加者 | 遺言代用信託ですね。

参加者 | 実際、実務的にお金持ちの方が亡くなった場合、本当にお葬式代も引き出せないことはどれくらいの割合でありますか？

永井 | みな引き出せないです。

参加者 | 亡くなったと言わなければ引き出せますよね？

参加者 | 実際はカードの暗証番号を知っていれば出せちゃいますよ。

参加者 | お金持ちでもそういう心配はいらないわけですかね。

永井 | 僕のいた信託銀行は、少なくとも新聞はチェックしていますから、新聞に載るような方は駄目ですよ。

岡本 | 「何月何日に亡くなっているはずなのに引き出している」というような、遡ってチェックすることはありますか？

永井 | それは、税務調査の時に税務署が行います。

参加者 | 状況に応じて葬式代ぐらいは銀行がどうにかすると聞いています。

参加者 | 銀行は状況に応じて対処しています。個別対応で出してくれますね。

岡本 | 私の体験から言うと、父親が入院した時に、銀行のキャッシュカードの暗証番号がわからず大変困りました。そういうことは何らかの形で家族などにわかるようにしておかなくてはいけませんね。



## 長期投資仲間通信「インベストラيف」

参加者 | 貸金庫がいいですよ。本人以外にもう一人設定できますよね。口座が封鎖された時に、財産の一覧表を記したものや、権利書を貸金庫に入れておけばわかります。

永井 | 貸金庫より、今流行のエンディングノートを作ればいいですよ。貸金庫の場合、口座と同じで亡くなった時にすぐ開けられなくなります。本人が生存している場合は代理人でもいいのですが、亡くなった後は代理人も開けられなくなります。

岡本 | やはり、大切なことはきちんとエンディングノートや口座の記録などを整理し、何かあったときに必要とする人がわかるようにしておかなければいけない。みなさん、よく準備をしてくださいね。今日はありがとうございました。



### 中国がわかるシリーズ 40 モンゴル軍の第一次大西征 その2

ライフネット生命保険株式会社  
代表取締役会長兼 CEO、出口 治明氏

1241 年、ウゲデイが没し(チャガタイも相前後して他界)、皇后ドレゲネが国政を代行します。1242 年、既にハンガリーを席捲していたモンゴル軍は、訃報を聞いて帰途につき(第1回大旋回)、ヨーロッパは救われたのです。

しかし、グユクと仲の悪かったバトゥは、カラコルムには戻らず、1243 年頃、ヴォルガ河口のサライを首都としてジョチ・ウルス(キプチャクハーン国、～1502)を建てました。よく、ロシアは、その後 250 年間、タタールの軛に喘いだ、と云われています。

しかし、モンゴルの支配は、アカイメネス朝や、イスラーム帝国同様、極めて寛容なものでした。実際に、民衆の膏血を搾り取ったのは、アレクサンドル・ネフスキーのような(ジョチ・ウルスに服属する)ロシアの諸侯であったのです。19 世紀のロシアのナショナリズムが、タタールの軛という神話を産み出したのです。

また、バトゥの遠征に関しては、1241 年、リーグニッツ(ワールシュタット)の戦いで、ドイツ騎士団・ポーランド連合軍が、モンゴル軍に敗れたことが、これまで、必ずといってよいほど言及されてきました。しかし、最近の研究では、リーグニッツの戦いはなかったか、あったとしても偶然の小競り合い程度のものであったことがほぼ実証されています。

この戦いも、19 世紀のドイツやポーランドのナショナリズムが産み出した神話に属するもので、ヨーロッパを救ったと云われているトゥール・ポワティエの戦い(732 年)と、同工異曲の類でしょう。歴史的には殆んど意味を持たない小競り合いが、カロリング家(ヨーロッパ)の栄光や、ドイツとポーランドとの運命共同体(リーグニッツで戦死したとされるポーランドのヘンリクの遺体を、ヒットラーがベルリンに運んだことは象徴的です)のために、歴史上の大事件としてフレームアップされたのです。



### 知って得する、ちょっと差がつく トリビア・コーナー

トリビア研究家 末崎 孝幸

末崎 孝幸氏

1945 年生まれ。1968 年一橋大学商学部卒業、同年日興証券入社。調査部門、資産運用部門などを経て、日興アセットマネジメント執行役員（調査本部長）を務める。2004 年に退職。Facebook 上での氏のトリビア投稿は好評を博している。



#### エベレスト初登頂の謎

世界最高峰・エベレストへの初登頂は 1953 年 5 月エドモンド・ヒラリー卿とシェルパのテンジン・ノルゲイの 2 人だが、その 29 年も前に山頂に立ったかもしれない人物がいることはあまり知られていない。その人物とは英国の伝説の登山家、ジョージ・マロリーである。

「なぜ山(エベレスト)に登るのか」との問いに、「そこに山があるから」(Because it is there)というマロリーの言葉は広く人口に膾炙している。マロリーはエベレストに 3 回挑戦しているが、今から 93 年前の 1924 年 6 月、3 回目の挑戦時に山頂付近で消息を絶った。その 75 年目の 1999 年 5 月 1 日にエベレスト北面 8160m 地点で遺体が発見されたのである。その遺体はほぼ完全な形で発見され、当時、世界の登山界に大きな衝撃を与えた。マロリーが消息を絶ったのは登頂前か後なのか、議論を呼んだがカメラが発見されていないことや、彼が登頂に成功すれば山頂に置いてくるといっていた妻の写真も見つからないままなので、彼が山頂に立ったのかどうかはいまだに謎のままである。

また、日本人初のエベレスト登頂者は植村直己(1970 年)、世界で女性初は田部井淳子(1975 年)である。

(写真は 18 年前に発見されたマロリーの遺体・・・衣類など





## 長期投資仲間通信「インベストラ이프」

は強風で吹き飛ばされていたが、遺体はほぼ完全な形で残っていた)

### 一を聞いて十を知る

孔子の弟子の中でも重要な弟子として論語に紹介されているのが「孔門の十哲」と呼ばれる10人の弟子たちだ。その中の顔回(最高位の弟子)と子貢にまつわる話である。

あるとき、孔子が子貢に質問した。「そなたと回とではどちらが優れているかな」。子貢は「とても回には及びません。しかし、回のようになろうとは思いません。回は一を聞いて十を知ることができます。私は一を聞いて二を知るのがやっとです」と答えた。孔子は「そうか、回に及ばないか。私だってそなた同様、回には及ばぬよ」と答えたという。

この故事から理解が非常に早く賢いことを「一を聞いて十を知る」というようになった。しかし、孔子の評価の高かった顔回は孔子に先立ち、若くして亡くなった。一方の子貢は魯や齊の国に仕え、その評価は高い。子貢が凡人だったわけではない。一を聞いて二を知ることですら、我々凡人には難しいことである。

### 引き出物(の語源)

結婚披露宴などの後に招待客に贈られるのが引き出物だが、その語源は「馬」である。

平安時代、宴会の招待客には馬を贈っていた。馬を庭に引き出して披露していたことから、引き出物というようになった。その後、馬の代わりに金品を贈るようになり、現在では招待客へのお土産を「引き出物」と呼ぶようになったのである。お土産だから誰にでも同じものを用意するのが慣わしだ。

### 間違いやすい会社名

味の素ゼネラルフーズ(ズではなく「ヅ」)

イトーヨーカ堂(社名は「堂」、店名はイトーヨーカドー)

オンキヨー(ヨは大文字)

キヤノン(ヤは大文字)

キューピー(ユは大文字)

三和シャッター工業(ヤは大文字)

シヤチハタ(ヤは大文字)

大平洋金属(太ではなく「大」)

大陽日酸(太ではなく「大」)



## 長期投資仲間通信「インベストラيف」

東洋シヤッター(ヤは大文字)  
ニッカウキスキー(イではなく「キ」)  
日本コロムビア(ンではなく「ム」)  
日本トイザラス(「ら」は平仮名)  
ビクカメラ(グではなく「ク」)  
富士フイルム(イは大文字)  
ブリヂストン(ジではなく「ヂ」)  
ブルドックソース(グではなく「ク」)  
文化シヤッター(ヤは大文字)  
三菱レイヨン(イは大文字)  
吉野家(屋ではなく「家」)  
(番外編)  
りそな銀行(英語表記は Risona ではなく、Resona)

### 祇園精舎(はどこにあるのか?)

「祇園精舎の鐘の聲、諸行無常の響あり。沙羅雙樹の花の色、盛者必衰の理をあらはす…」という『平家物語』の冒頭の文章はよく知られているが、「祇園精舎」が実際どこにあるのかを知る人は少ない。

祇園精舎は、インド北部コーサラ国にあった寺院であり、釈迦が説法を行った場所でもある。現在、その一帯は歴史公園に指定され、香堂(釈迦が寝食を行っていたとされる場所)などが残されている。

なお、実際の祇園精舎には長年鐘はなかったが、2004年に日本の「日本国祇園精舎の鐘の会」が鐘と鐘楼を寄贈した。

(追記)平安時代、藤原基経は京都の東山に牛頭(ごず、祇園精舎の守護神といわれる)天王をまつる観慶寺を建て、祇園精舎にならって祇園寺と名付けた。その門前町が現在の祇園であり、祇園寺は、後に八坂神社と改称している。



・写真は現在の祇園精舎



### I-OWA マンスリー・セミナー講演より 日本の証券市場のあゆみ 戦時体制へ(1926～1941)

講演：岡本 和久

レポーター：赤堀 薫里

第一次世界大戦で、勝利の側についた日本は「漁夫の利」と言われました。大戦後は世界秩序が十分に確立されず、各国ごとに保護主義、ブロック経済化が進みます。どこか今と似ている部分があります。

国内経済は戦中と戦争直後は好景気でしたが、反動不況に入ります。これは、第一次大戦中と戦後すぐには、欧州の生産能力が著しく落ちたため、日本に注文がきて好況を生み出したのですが、欧州で生産が復活することで限界供給者だった日本は大不況に陥ります。反動不況で苦しんでいるところに関東大震災が起き、この震災で国富 100 億円ぐらいが損失しました。

金融市場也大混乱をきたします。決済出来なくなった手形を日銀が買い入れ、日銀に損失が発生した時は「国が1億円まで面倒みる」という制度ができ、生まれたのが震災手形です。この制度に相乗りして震災とは関係ない反動不況の結果生じた不良債権手形まで持ち込まれたため、後に大きな問題となります。

震災処理法案の対象になった震災手形の未決済額が、昭和2年で2億680万円。そのうち、約半分を占めていた台湾銀行は、9割を鈴木商店1社に貸し付けて、震災手形として持っていました。野党は、国会で銀行毎に持っている震災手形の額を公表するように詰め寄ります。しかしそれは取り付け騒ぎにつながり、財界への衝撃を考えた片岡蔵相は、公表しませんでした。



しかし、銀行に大きな問題が発生していると皆が感じ出し、少しずつ取り付け騒ぎのようなものが始まります。そしてついに1927年に金融恐慌が起こります。きっかけは、片岡蔵相が国会の審議



## 長期投資仲間通信「インベストラيف」

の中で発した不用意な発言でした。東京渡辺銀行は「決済ができなくなってしまった」と大蔵省に報告しますが、その後、資金繰りのめどがつかず。しかし、片岡蔵相は、国会審議中の為、資金繰りができるようになったことを知らないまま、衆議院の予算会議中に「渡辺銀行が破綻した」と失言をしてしまいました。その結果、渡辺銀行に取り付け騒ぎが起きます。

そして渡辺銀行の姉妹銀行へもパニックの連鎖が始まります。鈴木商店に貸し付けていた台湾銀行も破綻。そのため、日銀は大量のお金を刷る必要性に迫られます。とにかく資金を供給なくてはと時間的制約があるなか刷ったため、当時は、裏面が真っ白のお札まで流通しました。それに加えて金融恐慌で日本が苦しんでいる中、1929年ウォール街の暴落から始まり、世界の不況が始まります。連鎖的に日本で昭和恐慌が発生します。

1927年の金融恐慌は、関東大震災が直接的な引き金になりました。震災手形、東京渡辺銀行のパニック、台湾銀行の鈴木商店への貸付問題が発生、そして、新銀行法という銀行に対して規制を強化する法律ができます。結果として、三井・三菱・住友・安田・第百の5大銀行に資金が集中していきます。

それに続き昭和恐慌が起こります。この時に金の解禁をどうするのか紛糾しました。この金の解禁については議論が揺れ動きます。第一次世界大戦が起きて、各国とも金の輸出を禁止しました。しかし、1919年にアメリカが第一次世界大戦後、金の輸出を解禁。1922年にジェノア会議が開かれ、各国とも金本位制に戻ることを決めます。日本は関東大震災が起こった時だったため、解禁するタイミングを逃してしまっていました。

大正末期頃から、日本も金本位制に戻らないと国際社会の一員として恥ずかしいという議論が高まってきます。当時日本には二つの恐慌があり、震災もあったので、円の実勢レートが安くなっていました。そこで新平価である今の実勢レートで解禁するか、旧平価の閉鎖前のレートで解禁するのか議論されました。1930年に井上準之助蔵相は、実際より14%位高い水準である旧平価で金の解禁をしました。金を解禁した後の株式は大暴落します。

この後、講演では、金融恐慌と昭和恐慌の中、ケインズによって理論化された高橋是清の経済政策についての解説、また、世界不況によって世界で格差が広がる中、同じく日本でも格差が拡大していく当時の日本の文化や政治、生活環境の説明がありました。そして、軍部台頭に伴い統制経済に入り、開戦に向けて進む日本の動きと、当時の兜町を話題を解説いただきました。

# <モデルポートフォリオ:2017年5月末の運用状況>

単位：％

|      |     | トータルリターン |       |            |             | リスク         | 1万円ずつ積み立てた場合の<br>投資額に対する騰落率 |            |              |                       |
|------|-----|----------|-------|------------|-------------|-------------|-----------------------------|------------|--------------|-----------------------|
|      |     | 1ヵ月      | 1年    | 5年<br>(年率) | 10年<br>(年率) | 10年<br>(年率) | 1年<br>12万円                  | 5年<br>60万円 | 10年<br>120万円 | 2000年1月<br>～<br>209万円 |
| 4資産型 | 積極型 | 1.59     | 12.95 | 17.48      | 2.73        | 17.10       | 10.39                       | 32.93      | 65.39        | 81.27                 |
|      | 成長型 | 1.18     | 7.59  | 13.02      | 2.87        | 12.19       | 6.76                        | 22.76      | 46.88        | 64.50                 |
|      | 安定型 | 0.77     | 2.36  | 8.57       | 2.75        | 7.71        | 3.27                        | 13.25      | 29.73        | 47.07                 |
| 2資産型 | 積極型 | 1.37     | 13.94 | 17.45      | 3.27        | 19.12       | 11.27                       | 31.76      | 68.15        | 94.09                 |
|      | 成長型 | 1.19     | 8.26  | 13.50      | 3.18        | 14.25       | 7.70                        | 22.34      | 49.45        | 74.51                 |
|      | 安定型 | 1.02     | 2.79  | 9.56       | 2.82        | 9.95        | 4.27                        | 13.48      | 32.18        | 54.38                 |

\* 投資にかかるコストは控除していない。積み立ては、税引き前分配金再投資。ポートフォリオは毎月リバランスをしたものとする。  
積み立ては計算月数分を運用したものとする。例えば1年の場合は2016年5月末に1万円投資資金を積み立て始め、  
2017年4月末の投資資金までとする(2017年5月末積み立て分は運用期間がないため含めていない)。

出所:イボットソン・アソシエイツ・ジャパンがMorningstar Directにより作成。MorningstarDirectについてのお問い合わせは  
「投信まとなび」のお問い合わせメール( <https://www.matonavi.jp/inquiry> )にてイボットソン・アソシエイツ・ジャパンまで。

## ポートフォリオの資産配分比率(外貨建て資産は円換算ベース)

|      |     | 国内株式:<br>TOPIX               | 外国株式:<br>MSCI<br>KOKUSAI | 国内債券:<br>NOMURA-<br>BPI<br>(総合) | 外国債券:<br>Citi WGBI<br>(除く日本) |
|------|-----|------------------------------|--------------------------|---------------------------------|------------------------------|
| 4資産型 | 積極型 | 40%                          | 40%                      | 10%                             | 10%                          |
|      | 成長型 | 25%                          | 25%                      | 25%                             | 25%                          |
|      | 安定型 | 10%                          | 10%                      | 40%                             | 40%                          |
| 2資産型 |     | 世界株式:<br>MSCI ACWI<br>(含む日本) |                          | 世界債券:<br>Citi WGBI<br>(含む日本)    |                              |
|      | 積極型 | 80%                          |                          | 20%                             |                              |
|      | 成長型 | 50%                          |                          | 50%                             |                              |
|      | 安定型 | 20%                          |                          | 80%                             |                              |

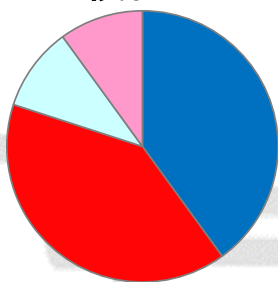
ポートフォリオは「インベストラيف」が参考のために考案した資産配分に基づき、イボットソン・アソシエイツ・ジャパンがデータを算出しています。  
特定の資産配分による投資の推奨を行うものではありません。

「長期投資仲間」通信『インベストラيف』のその他の記事はこちらからご覧ください。  
<http://www.investlife.jp/>

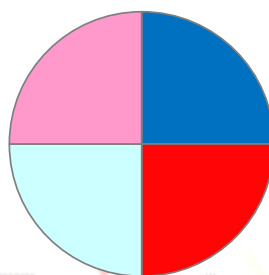
### 4資産

- 国内株式:  
TOPIX
- 外国株式:  
MSCI KOKUSAI
- 国内債券:  
NOMURA-BPI  
(総合)
- 外国債券:  
Citi WGBI  
(除く日本)

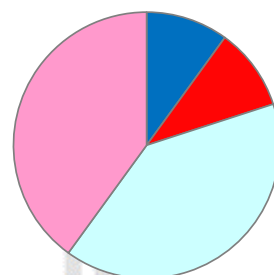
### 積極型



### 成長型



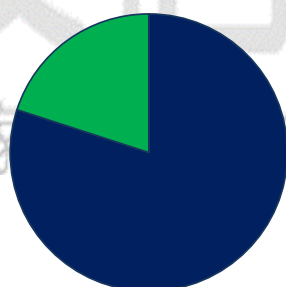
### 安定型



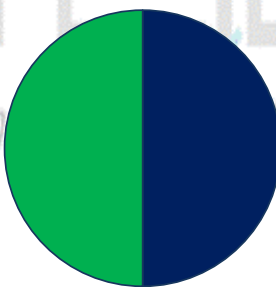
### 2資産

- 世界株式:  
MSCI ACWI  
(含む日本)
- 世界債券:  
Citi WGBI  
(含む日本)

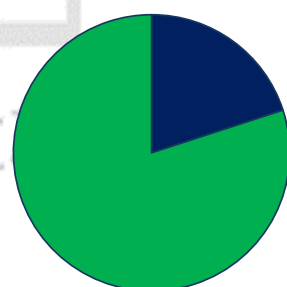
### 積極型



### 成長型



### 安定型



当資料は「インベストライフ」のために、イボットソン・アソシエイツ・ジャパンがデータを算出、作成しています。特定の投資信託による投資の推奨を行うものではありません。  
※ファンド名をクリックすると「投信まとなび」でそのファンドを見ることができます。

「長期投資仲間」通信『インベストライフ』の  
その他の記事はこちらからご覧ください。  
<http://www.investlife.jp/>

## <直販ファンド:2017年5月末の運用状況>

| 運用会社名      | ファンド名                       | トータルリターン |       |            |             | リスク   | 1万円ずつ積み立てた場合の<br>投資額に対する騰落率 |            |              |                   | 1万円ずつ積み立てた場合の<br>月末資産額 |            |              |                   | 2017年5月末    |             | 2017年<br>2月末           | 2017年<br>5月中         |
|------------|-----------------------------|----------|-------|------------|-------------|-------|-----------------------------|------------|--------------|-------------------|------------------------|------------|--------------|-------------------|-------------|-------------|------------------------|----------------------|
|            |                             | 1ヵ月      | 1年    | 5年<br>(年率) | 10年<br>(年率) |       | 1年<br>12万円                  | 5年<br>60万円 | 10年<br>120万円 | 2000年1月～<br>209万円 | 1年<br>12万円             | 5年<br>60万円 | 10年<br>120万円 | 2000年1月～<br>209万円 | 純資産<br>(億円) | 基準価額<br>(円) | (前回掲載時)<br>基準価額<br>(円) | 推計資金<br>純流入額<br>(億円) |
| さわかみ投信     | さわかみファンド                    | 1.06     | 14.60 | 18.17      | 1.68        | 20.58 | 10.58                       | 36.11      | 59.15        | 100.18            | 13.27                  | 81.67      | 190.98       | 364.33            | 2,964.1     | 22,813      | 22,396                 | -22.27               |
| セゾン投信      | セゾン・バンガード・<br>グローバルバランスファンド | 1.54     | 7.81  | 12.84      | 2.46        | 14.00 | 7.54                        | 20.78      | 44.47        | -                 | 12.91                  | 72.47      | 173.36       | -                 | 1,359.8     | 13,590      | 13,266                 | 6.45                 |
| レオス・キャピタルワ | ひふみ投信                       | 6.22     | 22.34 | 27.47      | -           | -     | 19.15                       | 74.90      | -            | -                 | 14.30                  | 104.94     | -            | -                 | 606.5       | 41,664      | 38,074                 | 44.89                |
| セゾン投信      | セゾン<br>資産形成の達人ファンド          | 3.95     | 21.71 | 22.18      | 6.27        | 20.43 | 17.21                       | 48.75      | 107.83       | -                 | 14.06                  | 89.25      | 249.40       | -                 | 439.5       | 18,672      | 17,167                 | 1.28                 |
| 鎌倉投信       | 結い 2101                     | 2.12     | 9.87  | 11.40      | -           | -     | 7.54                        | 22.43      | -            | -                 | 12.90                  | 73.46      | -            | -                 | 274.5       | 17,286      | 16,621                 | 1.06                 |
| ありがとう投信    | ありがとうファンド                   | 2.91     | 14.25 | 17.23      | 2.72        | 17.76 | 12.82                       | 35.34      | 65.40        | -                 | 13.54                  | 81.20      | 198.48       | -                 | 121.4       | 17,417      | 16,200                 | -1.05                |
| コモンズ投信     | コモンズ30ファンド                  | 3.78     | 20.25 | 18.39      | -           | -     | 13.31                       | 40.78      | -            | -                 | 13.60                  | 84.47      | -            | -                 | 94.9        | 25,652      | 24,505                 | -0.61                |
| クローバー・アセット | コドモ ファンド                    | 4.79     | 16.57 | -          | -           | -     | 14.43                       | -          | -            | -                 | 13.73                  | -          | -            | -                 | 53.5        | 15,605      | 14,570                 | 0.05                 |
| ユニオン投信     | ユニオンファンド                    | 2.55     | 20.71 | 15.16      | -           | -     | 13.45                       | 30.13      | -            | -                 | 13.61                  | 78.08      | -            | -                 | 52.5        | 23,642      | 22,426                 | 0.07                 |
| コモンズ投信     | ザ・2020ビジョン                  | 2.09     | 6.04  | -          | -           | -     | 6.91                        | -          | -            | -                 | 12.83                  | -          | -            | -                 | 43.8        | 13,275      | 12,961                 | -2.95                |
| クローバー・アセット | 浪花おふくろファンド                  | 3.76     | 15.43 | 18.50      | -           | -     | 12.96                       | 42.42      | -            | -                 | 13.56                  | 85.45      | -            | -                 | 11.1        | 18,707      | 17,717                 | 0.03                 |
| クローバー・アセット | らくちんファンド                    | 3.06     | 13.05 | 15.93      | -           | -     | 11.60                       | 34.29      | -            | -                 | 13.39                  | 80.58      | -            | -                 | 8.4         | 15,639      | 14,804                 | 0.02                 |
| クローバー・アセット | かいたくファンド                    | 3.20     | 12.62 | 16.67      | -           | -     | 11.84                       | 37.26      | -            | -                 | 13.42                  | 82.36      | -            | -                 | 6.7         | 18,349      | 17,357                 | 0.04                 |

\*積み立ては税引き前分配金再投資、計算月数分を運用したものとします。例えば1年の場合は2016年5月末に1万円で積み立てを開始し、2017年4月末投資分までの5月末における運用成果とする(5月の積み立て額は入れない)。

出所: MorningstarDirectのデータを用いてイボットソン・アソシエイツ・ジャパンが作成。MorningstarDirectについてのお問い合わせは「投信まとなび」のお問い合わせメール(<https://www.matonavi.jp/inquiry>)にてお気軽にご送信ください。